

## CUSTOMER STORY

# Lagardère Travel Retail Italy: FireEyeのEメール脅威対策で各店舗を保護

### 概要

### 業界



小売業

### 企業紹介

Lagardère Groupは、世界45か国にわたって事業を展開する、流通、エンターテインメント管理、コンテンツ制作におけるグローバル・リーダーです。年間売上は75億米ドル(71億ユーロ)に上ります。

Lagardère Groupは以下の4つの主要事業で構成されます。

- Lagardère Publishing
- Lagardère Travel Retail
- Lagardère Active
- Lagardère Sports and Entertainment



Lagardère Travel Retail ItalyはLagardère Travelの小売事業の子会社で、イタリア全土にわたってフードサービスと免税店を140店舗展開し、3億2000万米ドル(3億ユーロ)規模の事業を管理しています。1,500名の従業員が使用するクラウドベースのEメール・クライアント数は500であり、やり取りされるEメール数は1日当たり通常350,000~365,000通にもなります。そのため、会社のEメールを攻撃から保護することは、業務を確実に継続するために必須です。業務の性質上、Eメールは企業運営にかかわる非常に重要な構成要素です。しかし、それはすなわち、スパイ・フィッシングなどの有害なメッセージが大量に会社に送りつけられているということでもありました。こうしたメッセージは既存のEメール・フィルターを潜り抜けていたため、IT部門の幹部はすぐに手を打つ必要があると判断しました。

## 「FireEyeのユニークなアプローチにより、多様性のある業界屈指の保護が実現しました。セキュリティ体制全体が明らかに向上しています」

— アルベルト・シニョール (Alberto Signor) 氏、情報通信テクノロジー担当ヴァイス・プレジデント、Lagardère Travel Retail Italy

### 高度な攻撃に対応

Lagardère Travel Retail Italyでは、高度な脅威に対する保護を強化するため、使用しているMicrosoft Office 365 (O365)のEメール環境に付属のアンチウイルス・セキュリティを補強するプロジェクトに着手しました。情報通信テクノロジー担当ヴァイス・プレジデントのアルベルト・シニョール (Alberto Signor) 氏は次のように語っています。「スパイ・フィッシング、不正なURL、ランサムウェア、ゼロデイ攻撃といった、金銭面も含めて大きな被害をもたらす可能性のある高度な攻撃に対して、セキュリティ対策のレイヤーを追加したいと考えました」

自社による評価と同僚からの推奨事項に基づき、シニョール氏とチームは、クラウドベースのFireEye® Eメール脅威対策 (ETP) ソリューションを選定しました。Eメールは高度な攻撃に最も悪用される経路であり、Eメールからの攻撃に対する保護の必要性が高まっていたことから、このソリューションが最適であるとの判断に至りました。

### インテリジェントな保護とオペレーションの効率

1か月間のPOCの結果、FireEye ETPは効果的であり、管理も容易であることが証明され、社員に届くスパイ・フィッシング・メールの数が劇的に減少したことが確認されました。FireEyeは、付加的なセキュリティとして、ファイル・レベルとテキスト・レベルの両方で暗号化された脅威を検知しました。その上、ETPがアクティブ・ブロッキング・モードで導入されたことから、膨大な量の脅威を環境全体から排除することに成功しました。FireEyeのソリューションは、1日平均50件のマルウェア攻撃の隔離にも成功しました。以前は、既存のEメール・フィルタリング製品でチェックされず、すり抜けて侵入していた攻撃です。

### シンプルな導入

Lagardère Travel Retail Italyチームは、既存のO365セキュリティを含む、他のプロバイダーによる従来のコンポーネントに、ETPを容易に統合できることを知りました。これによって、多層的なアプローチが実現し、セキュリティ体制が向上したのです。システム・エンジニアを率いるエンリコ・ロー・ブオノ (Enrico Lo Buono) 氏は、こう述べています。「ETPの設定は非常に簡単でわかりやすいことに驚きました。ルールの設定を終えて、すべてを立ち上げて稼働させるまで、15分かかりませんでした!」

Eメール・トラフィックのレビューを行い、ユーザーにレポートを出すのも簡単になりました。「FireEyeのポータルを利用すれば、Eメール脅威をレビューして、インフラ全体にわたるメッセージのフローを確認するのも簡単です」と、ロー・ブオノ氏は語っています。

ロー・ブオノ氏はこのようにも述べています。「FireEyeのソリューションには、各ユーザーが自分のアカウントでブロックされたすべての脅威の情報をEメールで受け取ることのできる機能もあります。ユーザーは、脅威として特定されたEメールを確認して正当なものだと判断した場合、1回のクリックで受信箱に送ることができます。

### 保護のもとで安心して働く

クラウドベースのEメールがFireEye ETPで保護されたことにより、標準のMicrosoft Office 365ツールの使用下では従業員が頻繁にEメール経由の脅威の被害を受けていましたが、ITチームは、この脅威を封じ込めることに成功しました。攻撃に対するこのような防御体制が確立されたことで、同社の1,500名の従業員は、確かなセキュリティのもとで、自身のEメールが被害を引き起こす可能性がないという安心感を持って働けるようになりました。

### 長期的な結果を達成する自由度

FireEye ETPソリューションのセキュリティによって、Lagardère Travel Retail Italyは、不正なEメール攻撃に不安がることなく、旅行客へサービスを安定して提供できるようになりました。脅威から資産を保護する手段を備えたことで、フードサービスと免税店の事業は、新規顧客の獲得、パートナーシップの構築、長期的な業績の拡大に集中できるようになりました。シニョール氏はこう結んでいます。「FireEye ETPが提供するインテリジェントなソリューションは、日々発生するさまざまな脅威やスパム・メール、ウイルス、マルウェアを監視し、防御してくれています。それによって、当社のビジネスが保護されています」

Microsoft O365にも一定の機能はありますが、FireEyeのユニークなアプローチにより、多様性のある、業界屈指の保護が実現しました。セキュリティ体制全体が明らかに向上しています。FireEye Eメール脅威対策を選んで、本当に良かったと思っています」

FireEyeの詳細については、[www.FireEye.jp](http://www.FireEye.jp)をご覧ください。

#### ファイア・アイ株式会社

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-22  
テラススクエア8階 | 03-4577-4401 |  
Japan@fireeye.com

©2020 FireEye, Inc. All rights reserved. FireEyeはFireEye, Inc.の登録商標です。その他のブランド名、製品またはサービス名はそれぞれその所有者の商標またはサービスマークとして登録されている場合があります。  
CS-EXT-CS-JA-JP-000152-01

#### FireEyeについて

FireEyeは、インテリジェンス主導型のセキュリティ企業です。顧客企業は、FireEyeの革新的セキュリティ技術、国家レベルの脅威インテリジェンス、世界的に著名なMandiant®コンサルティングの知見が統合された単一プラットフォームを、自社のセキュリティ対策の一部としてシームレスに組み込むことができます。このアプローチにより、FireEyeは準備、防御、インシデントレスポンスといった、組織がサイバー攻撃対策をする上での課題となっていた複雑性や負担を解消します。

